

創立148周年

3月号（令和4年2月28日発行）



kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

鉄小ならではのあいさつ

校長 森 愛子

コロナ禍となり二年が経ちました。これまで、様々な行事の中止・変更へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年の6年生は行先を箱根・鎌倉に変更しましたが、修学旅行に行くことができました。5年生は、2年続きの宿泊体験学習の中止で悲しい思いをしていますが、八景島シーパラダイス・日産自動車工場への校外学習はでき、来年度7月の日光修学旅行は貸し切りバスにて実施の予定であります。4年生は箱根細工体験・小田原城の校外学習やバレエ鑑賞などはできたものの、宿泊体験は未経験ですので、5月末の上郷宿泊体験はぜひ実施できることを願っています。来年度も、いつなら実施できるかと感染症の流行を予想しつつ、時期を見て計画する1年になるかと思えます。

横浜市のガイドラインにより、現在は学級間の交流ができず、本校において栽培体験活動とともに大切にしている異学年交流「たてわり活動」が中止や規模縮小となっています。そんな中でも、児童会が毎朝、校門に立ち、挨拶の声かけを地道に続け、お手本を見せてくれた結果、鉄小が自慢としていた「立ち止まって丁寧に頭を下げる挨拶」が自然とできるようになりました。コロナウィルス感染症対策初期は、ソーシャルディスタンスを取らせること、大きな声を出させないことを徹底することが優先となり、挨拶に力を入れる雰囲気ではない時期もありました。しかし、感染症対策を取りながら「今、できることを頑張ろう」ということで子ども達なりに考えたものが、あいさつ運動でした。取組の成果を放送朝会で報告するなどして、全校児童のモチベーションアップを図り、徐々に定着して来ました。大人がこうしなさいと呼びかける以上の効果です。変わらざるを得ないことが多い中、鉄小ならではの挨拶の伝統はつなげていきたいと思えます。今年度の卒業式も、様々な制約があり、在校生の出席は叶いませんが、立派に成長したお子さんの姿を保護者の皆様とともにお祝いし、子ども達が「鉄小で良かった。この仲間が良かった。」と心に残るものを創り上げたいと準備しています。

鉄小の全員参加の卒業式は、卒業生にとってだけでなく、在校生が、卒業生の晴れ姿を見て、自分もいつかあんなふうに輝きたいと思い、新たな年への希望をもって進級していくためにも意義深いものでした。コロナウィルス感染症が終息を迎え、鉄小の伝統の一つである全校児童参加による卒業式・入学式が実施できる日が1日も早く来ることを願っています。しばらくは続くと思われる「ウィズコロナ」の時代を地道な感染症対策と柔軟な発想で乗り切っていきたいと考えていますので、今後とも、ご理解・ご協力よろしくお願いたします。